

平成28年度事業報告書

公益財団法人日本チャリティ協会

目 次

I 障害者関係事業	1
1. 第31回東京都障害者総合美術展	1
2. 平成28年度東京都障害者休養ホーム事業	2
3. 第36回「障害者週間」記念の集い・ふれあいフェスティバル	3
4. 第33回障害者のためのふれあいコンサート	4
5. 平成28年度第31期障害者のカルチャースクール	4
6. パラアート事業	6
7. 明治神宮奉納「第75回全日本力士選士権大会」	8
II 高齢者関係事業	8
1. 介護サービス情報の公表	8
2. 第18回クプナ・フラ・フェスティバル	9
3. 第21回シニアコーラス TOKYO フェスティバル	10
4. 第47回高齢者など福祉活動推進のためのチャリティショー	10
5. 高齢者のためのはつらつカラオケコンクール	11
6. その他の福祉関係事業	12
(1) ボランティアの組織化と活動	
(2) 他団体主催行事招待及び物品の贈呈	
III 東京都福祉サービス第三者評価事業	13
IV 共催・後援・協力事業	13
1. 障害者関係事業	13
(1) 第44回車椅子バスケットボール選手権大会	
(2) 第50回スポーツの集い	
2. 高齢者関係事業	14
(1) 第53回東京都老人クラブ芸能大会	
(2) 第35回福祉施設への美容師訪問ボランティア	
V 法人の運営	15
1. 理事会・評議会の開催	15
2. 後援会活動	17

平成 28 年度事業の実施内容

I 障害者関係事業

1. 第 31 回東京都障害者総合美術展

障害者が日頃から修練し積み重ね創作した作品の、審査・展示発表の機会を通じて、障害者が持つ芸術文化的能力を広く社会に披露すること及び障害者が持っている芸術文化的能力を基に、自立と健常者との交流など社会参加の促進を図ることを目的に開催した。

主 催:東京都

主 管:日本チャリティ協会

期 日:平成 28 年 7 月 27 日(水)から 7 月 31 日(日)まで(5日間開催)
(審査会:7 月 25 日(月) 場所:東京都庁第一本庁舎 5 階大会議場)

時 間:午前 10 時から午後 9 まで(最終日は午後4時閉会)

場 所:西武池袋本店7階特設会場

内 容:募集:公募(都内在住の障害者)

募集内容:絵画・造形・書・写真

表彰:最優秀賞(東京都知事賞)1点、優秀賞2点、佳作5点、努力賞5点

努力賞5点、日本チャリティ協会会長賞、審査員特別賞 計20点

応募点数:絵画 479 点・造形 119 点・書 101 点・写真 43 点 計 742 点

(前年度 計 774 点)

入選展示数 200 点(前年度 201 点)

審査員:山本貞、友永詔三、堀吉光、板見浩史、高木金次

表彰式:平成 28 年 7 月 27 日(木)9時40分 展示会場内

高円宮承子女王殿下

梶原 洋 東京都福祉保健局長

斎藤やすひろ 東京都議会厚生委員会委員長

中條美彦 そごう・西武池袋本店副店長

高木金次 日本チャリティ協会会長

友永詔三 障害者総合美術展審査員

来場者:3,893 名(前年度 3,811 名)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	7,150,000 円	東京都委託金収益 7,150,000 円
経 常 費 用	7,150,000 円	募集及展示等 6,423,570 円、事務費 726,430 円
当期経常増減額	0 円	

2. 平成 28 年度東京都障害者休養ホーム事業

障害者及び介助者が家族や仲間とくつろぐため、東京都が指定した保養所を利用し、日常生活からの解放感を満喫し、障害者及び介助者の豊かで生きがいのある生活づくりを目的に実施するもので、東京都からの委託を受け利用助成金清算業務を実施した。

主 管：東京都

管 理：日本チャリティ協会

受託期間：平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月まで

利用対象：都内在住の障害者及び付添者

受託内容：休養ホーム利用申込、相談及び施設利用料助成金精算業務

年間利用者

区分		本年度	27 年度	26 年度
利用件数		2,740 件	2,889 件	2,992 件
利用者数		20,156 名	22,041 名	23,254 名
内 訳	身体障害	7,969 名	8,976 名	9,900 名
	知的障害	10,400 名	11,215 名	11,196 名
	精神障害	1,787 名	1,850 名	2,158 名

指定施設：○数字は都指定施設の数 合計 36 施設（前年度 37 施設）

北 海 道②	ピュア・フィールド風曜日、うねうね畑とくもの月
東 北 方 面 ②	湖畔のホテル・クオレ、かんぼの宿郡山
常磐・関越方面⑪	いこいの村涸沼、かんぼの宿大洗・塩原、冬桜の宿神泉、休暇村奥武蔵、ガストホフエール、栃木県障害者保養センター那珂川苑、まついだ森の家、湯沢ニューオータニホテル、ホテル・エフ、ニューグリーンピア津南
房 総 方 面 ③	かんぼの宿旭・勝浦・鴨川
中央線・信州方面⑧	かんぼの宿青梅・石和・諏訪、雅樹雅、富士レークホテル、山ぼうし、さゆ〜る、旅館はくら
伊豆・箱根方面⑤	すばる、箱根高原ホテル、熱川ハイツ、ひゅっかり、サニーステップ
東 海 方 面 ③	富士リゾート、かんぼの宿浜名湖三ヶ日・知多美浜
関 西 方 面 ②	ホテルビナリオ嵯峨嵐山、神戸ポートピアホテル

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	117,885,140 円	東京都委託金収益 117,885,140 円
経 常 費 用	117,885,140 円	施設利用料 105,026,864 円、振込手数料 264,276 円 事務費 12,594,000 円
当期経常増減額	0 円	

3. 第 36 回「障害者週間」記念の集い・ふれあいフェスティバル

昭和 56 年に開催した「国際障害者年ふれあいフェスティバル」を契機に、障害者を取り巻く問題について、都民の理解と認識を深めてもらうことを目的に開催した。

主 催: 東京都・日本チャリティ協会

後 援: 内閣府、厚生労働省

期 日: 平成 28 年 12 月 5 日(月)

時 間: 午後 1 時から午後 3 時 15 分まで

場 所: 東京都庁第一本庁舎 5 階大会議場

内 容: 第一部記念式典

表彰: 障害者福祉関係知事表彰

① 自立支援功労者 受賞者 6 名

② 自立生活者 受賞者 2 名

記念品贈呈: 日本チャリティ協会

第二部ふれあいステージ

▶ 踊正太郎 津軽三味線ライブ

▶ ふれあいトークショー

▶ 都立府中けやきの森学園和太鼓部

司会/秋島由実

参加者: 430 名(前年度 512 名)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	4,500,000 円	東京都補助金収益 4,500,000 円
経 常 費 用	4,500,000 円	設営及出演料等 3,436,777 円、事務費 1,063,223 円
当期経常増減額	0 円	

4. 第33回障害者のためのふれあいコンサート

障害者やその家族などを対象に、オーケストラの演奏によるクラシック音楽等を鑑賞する機会を提供し、障害者の積極的な社会参加を図るとともに、豊かで生きがいのある暮らしづくりを目的に開催した。

主 催:東京都・日本チャリティ協会・東京都交響楽団

協 賛:株式会社大塚商会

期 日:平成29年3月12日(日)

時 間:午後2時から午後4時まで

場 所:新宿文化センター大ホール

内 容:第一部 2 VOICE - 原順子 & 叶央介 -

第二部 管弦楽演奏 演奏/東京都交響楽団

指揮/大野和士

司会/加藤知華

招待者 :1,005名(前年度1,254名)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	2,075,000円	東京都補助金収益1,975,000円 企業協賛金収益100,000円
経 常 費 用	2,075,000円	設営及出演料等1,598,740円、事務費476,260円
当期経常増減額	0円	

5. 平成28年度第31期障害者のカルチャースクール

障害者の自立と社会参加への支援及び障害者が持つ芸術文化に関する潜在的能力の開発を目的に、実技指導には各界の著名な作家を講師として招聘し実施した。また、本年度は、講師の協力を得て、豊島区「としまアート教室」の運営受託を行った。

主 催:日本チャリティ協会

期 日:平成28年4月から平成29年3月まで(実技指導 年18回)

場 所:東京都障害者福祉会館

内 容:全4コース/マンガ・イラスト、一般絵画 A・B、書道、

コース	第31期	第30期	第29期	第28期	第27期
マンガ・イラスト	13名	14名	14名	18名	14名
一般絵画 A	17名	17名	18名	21名	25名
一般絵画 B	21名	20名	19名	20名	22名
書道	12名	18名	17名	20名	24名
合 計	63名	69名	68名	79名	85名

○開講式

期 日:平成 28 年 4 月 3 日(日)

時 間:午前 10 時 30 分から午前 11 時 30 分まで

場 所:東京都障害者福祉会館

内 容:主催者挨拶(日本チャリティ協会会長)

講師紹介及び委嘱状交付

講 師:横川永鷲、石渡鷲遊、白木ゆり、津田光郎、ウノカマキリ、堀吉光、板倉知恵、
八木道夫、タナカミノル

○閉講式

期 日:平成 29 年 3 月 12 日(日)

時 間:午前 10 時 30 分から午前 11 時 30 分まで

場 所:東京都障害者福祉会館

内 容:修了証・皆勤賞の授与

祝辞(日本チャリティ協会会長、各講師)

講 師:横川永鷲、石渡鷲遊、津田光郎、ウノカマキリ、堀吉光、板倉知恵、八木道夫、
タナカミノル

修了証授与:

コース	第 31 期	第 30 期	第 29 期	第 28 期	第 27 期
マンガ・イラスト	12 名	13 名	13 名	17 名	14 名
一般絵画 A	16 名	16 名	16 名	18 名	21 名
一般絵画 B	19 名	17 名	18 名	19 名	17 名
書道	11 名	14 名	14 名	16 名	19 名
合 計	58 名	60 名	61 名	70 名	71 名

皆勤賞授与:計 19 名(昨年 15 名)

○豊島区「としまアート教室」の運営

期 日:平成 28 年 8 月から平成 29 年 2 月まで

内 容:豊島区障害者施設を利用した連続講座(10 回)にカルチャー教室から講師3
名を派遣。15 名の受講者が各自で決めたテーマに沿って制作、作品は豊島区
主催の第 10 回美術展「ときめき創造展」(平成 29 年 3 月)に展示された。

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	2,475,844 円	事業受託収益(講座受講料) 2,191,844 円 事業受託収益(としまアート教室)284,000 円
経 常 費 用	2,475,054 円	カルチャースクールの運営 2,263,366 円 としまアート教室の運営費 211,688 円
当期経常増減額	790 円	

6.パラアート事業

「パラアート」とは、「2009アジア・パラアートTOKYO」展記念シンポジウムにおいて、障害を持つ作家たちが創作する芸術を象徴するものとして採択し、チャリティ協会が世に送り出した共通語である。本年度は「2016 パラアートTOKYO」展等を盛大に開催した。これまでの活動を踏まえ更なる「パラアート」の普及発展に努めた。

(1)「2016 パラアート TOKYO」展の開催

期 日:平成 28 年 7 月 15 日(金)から 19 日(月)まで 会期 5 日間

場 所:豊島区センタースクエア(豊島区役所 1 階)

内 容:日本・中国・韓国を中心に海外 19 カ国の障害者の書と絵画 135 点を展示した。
絵画 107 点(海外 52 点、国内 55 点)書 28 点(海外 11 点、国内 17 点)

来場数:1,252 人

(2)「2016 パラアート TOKYO」記念シンポジウムの開催

期 日:平成 28 年 7 月 16 日(土)

場 所:豊島区議会本会議場(豊島区役所 8 階)

内 容:「障害者アートの未来」について、幅広い視点からの基調報告と意見交換を行った。

パネリスト:山本 貞(洋画家・日本芸術院会員・二紀会理事長)、建畠 哲(美術評論家・多摩美術大学学長)、劉喜欣(中国山東美術館副館長)、周銃涎(韓国ソウル大学アジアセンター主任研究員・社会学博士)、高野之夫(豊島区長)、八代英太(元郵政大臣)

司 会:古屋和雄(文化外国語専門学校校長・元 NHK アナウンサー)

来場数:145 人

(3)「パラアート連絡協議会」設立準備会の開催

期 日:平成 28 年 7 月 16 日(土)

場 所:豊島区議会本会議場併設会議室(豊島区役所 8 階)

内 容:障害者芸術の国際的な関係性の構築を図る「パラアート国際連絡協議会」結成に先駆けて、教育者、芸術文化団体や公的関係者等で構築される「協力委員会」の設置に向け、シンポジウムの開催に合わせ準備会を開催し、会長に日本チャリティ協会高木会長が、副会長に韓国障害者文化振興院申理事長が選出された。

出席者:申鍾鎬(韓国障害者文化振興院理事長)、高木金次(公益財団法人日本チャリティ協会会長)、劉喜欣(中国山東美術館副館長)、金忠顕(韓国障害者美術協会会長)、周銃涎(韓国ソウル大学アジアセンター主任研究員)、足立則夫(ジャーナリスト・日本チャリティ協会評議員)

(4)「2016日・韓・中障害者書画交流展」への出展参加

日・韓・中障害者の高い水準の書画作品及び作家との国際交流を通じ、障害者書画の世界を共有し、新たな道標と認識改善を図ることを目的に、韓国障害者芸術協会が主催する書画展に、作家とともに参加した。

期 日:平成 28 年 10 月 4 日(火)から 7 日(金)まで 会期 4 日間

場 所:韓国国会議員会館 3 階ロビー(ソウル市)

内 容:韓国 30 名、日本 10 名、中国 10 名

(5)「専門学校アート&デザイン展」との連携展の開催

協会が推進している「パラアート」の普及宣伝活動の一環として、アートの専門学校生等に対し、「パラアート」の社会的周知と認識拡大を目的に連携展を開催した。課題にパラアートの「ロゴマーク」を掲げ、参加 11 校の生徒から作品を募集、審査し優秀作品を表彰した。

期 日:平成 29 年 2 月 22 日(水)から 28 日(火)まで 会期 7 日間

場 所:東京都美術館(台東区上野公園内)

内 容:最優秀賞1点、東京専門学校協会会長賞 1 点、日本チャリティ協会会長賞 1 点、優秀賞 8 点、佳作 22 点

参加校:東京デザイナー学院、日本デザイン福祉専門学校、日本工学院専門学校、山脇美術専門学院、東京ビジュアルアーツ、創形美術学校、東京デザイン専門学校、専門学校日本デザイナー学院、専門学校 ICS カレッジオブアーツ、日本電子専門学校、中央工学校

(6)全国障害者芸術・文化祭への出展参加

愛知県と厚生労働省が主催する第 16 回全国障害者芸術・文化祭あいち大会展示会場に設けられた「パラアート」コーナーに出展参加した。なお、本事業への出展参加は第10回徳島大会からで、「パラアート」普及発展の場として好評を得ている。

期 日:平成 28 年 12 月 9 日(金)から 11 日(日)まで 会期 3 日間

場 所:名古屋三越特設ギャラリー

内 容:「2016 パラアートあいち」出展 27 点(海外 14 点、国内 13 点)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	9,057,800 円	受取民間助成金 9,000,000 円 事業受託収益 57,800 円
経 常 費 用	8,841,848 円	連絡協議会の開催 873,518 円 シンポジウムの開催 2,540,783 円 パラアート展の開催 3,134,110 円 交流展への出展参加 449,376 円 専門学校との連携展 142,363 円 全国障害者芸術・文化祭への出展 39,644 円 パラアート事業の普及活動等 1,662,054 円
当期経常増減額	215,952 円	

7. 明治神宮奉納「第 75 回全日本力士選士権大会」

相撲力士の取組を観戦する機会に恵まれない障害者を招き、伝統と技の世界を体験させたいとの主催者の意向を受け開始した協力事業。

主 催： 日本相撲協会

協 力： 日本チャリティ協会(昭和56年の第 41 回から協力を開始)

期 日： 平成 28 年 10 月 3 日(月)

時 間： 午後 12 時 30 分から午後 4 時 20 分まで

場 所： 両国国技館

招待者： 障害者(児)と家族 1,400 名を招待

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	0 円	
経 常 費 用	125,454 円	旅費、保険料、ボランティアへの謝金等
当期経常増減額	△125,454 円	

II 高齢者関係事業

1. 介護サービス情報の公表

介護サービス情報調査は、介護保険法に基づく都道府県の自治事務で、介護サービス事業者のサービスの内容や運営状況を調査した客観情報をインターネット等により公表する制度。本協会は、都の指定調査機関としてサービス提供事業者に対する調査を行った。

調 査 員：調査従事調査員 6 名(登録調査員 18 名)

調査期間：平成 28 年 9 月～平成 29 年 2 月

調査件数：91 件(調査員平均調査件数 15 件)

介護サービス区分	本年度	27 年度	26 年度
訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハビリテーション	32 件	45 件	39 件
通所介護・通所リハビリテーション	25 件	32 件	33 件
特定施設入居者生活介護(有料・軽費・高齢者向け住宅)	6 件	6 件	3 件
福祉用具貸与	3 件	4 件	6 件
小規模多機能型居宅介護	0 件	0 件	1 件
認知症対応型共同生活介護	0 件	0 件	0 件
居宅介護支援	21 件	28 件	32 件
介護老人福祉施設・短期入所生活介護	3 件	3 件	8 件
介護老人保健施設・短期入所療養介護	1 件	1 件	3 件
計	91 件	119 件	125 件

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	1,635,400 円	事業受託収益(調査委託費)1,635,400 円
経 常 費 用	1,635,400 円	調査費 668,706 円、事務費 966,694 円
当期経常増減額	0 円	

2. 第 18 回クプナ・フラ・フェスティバル

中高年者グループによるフラダンスの質の高い発表の場として、また、中高年者の文化活動の促進及び親睦並びに健康維持増進等を促進させ明るく元気な高齢社会づくりに寄与することを目的に開催した。

主 催: 日本チャリティ協会、クプナ・フラ・フェスティバル運営委員会

後 援: ハワイ州、ハワイ州観光局、東京都、全国老人クラブ連合会、東京都老人クラブ連合会、

協 賛: 日本ハワイアン音楽協会、Hawaiian Fan

協 力: HULA Le`s

企画制作: (株)公共事業PRセンター

期 日: 平成 28 年 6 月 25 日(土)午後 3 時から午後 8 時まで

場 所: 中野サンプラザホール

出 演 者: 全国フラグループ 19 組(前年度 18 組)
フラグループにハワイ州知事より感謝状が交付贈呈

特別出演: トレイシー&ケアヴェ・ロペス

来 場 数: 2,046 名(前年度 1,904 名)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	9,572,580 円	主催事業収益(参加料等)9,314,080 円 企業協賛金収益 258,500 円
経 常 費 用	9,570,609 円	企画制作費及会場費等 7,180,609 円 事業委託費 2,400,000 円
当期経常増減額	1,971 円	

3.第 21 回シニアコーラス・TOKYO・フェスティバル

高齢者が日頃積み重ねたコーラス活動の成果を競うとともに、参加者相互の理解と親睦を深め、高齢者の生きがいと積極的な社会参加を促すとともに、高齢者のより豊かで充実した文化生活在るなど、高齢者福祉の増進を図ることを目的に開催したシニアコーラスコンクール。

主 催:日本チャリティ協会 東京都老人クラブ連合会
後 援:厚生労働省 文部科学省 東京都 全国老人クラブ連合会
協 賛:都民共済
協 力:東京都合唱連盟
企画制作:(株)公共事業PRセンター
期 日:平成 29 年 2 月 26 日(日)
時 間:午前 11 時 30 分から午後 7 時 30 分まで
場 所:東京オペラシティコンサートホール(タケミツメモリアル)
参 加:38 組 864 名(前年度 23 組 602 名)
審 査 員:服部克久、岸信介、千住 明、宇佐美瑠璃
来 場 数:2,329 名(前年度 1,418 名)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	5,686,100 円	主催事業収益(参加料等)2,445,500 円 企業協賛金収益 3,240,000 円 雑収益 600 円
経 常 費 用	5,686,052 円	企画制作費及会場費等 3,494,100 円 事業委託費 2,192,000 円
当期経常増減額	48 円	

4.第 47 回高齢者など福祉活動推進のためのチャリティショー

～「永遠のスクリーンミュージック Part20」～

高齢者が過ごした時代に身近に流れた音楽を、同時代を生き抜いた歌手と現代を代表する歌手などで再現する福祉活動推進のためのチャリティショー。高齢者等の福祉への貢献及び音楽界の活性化と芸能文化の発展にも寄与することを目的に開催した。

なお、本事業は、47 年間の長きにわたり福祉活動を支援してきたが、近年の社会及び福祉環境等から、その役割は十分に果たせたものと認識し、本年度を持って終幕した。

主 催:日本チャリティ協会 永遠のスクリーンミュージック運営委員会
後 援:東京都

企画制作:(株)公共事業PRセンター

期 日:平成 28 年 9 月 2 日(金)

時 間:午後5時30分から午後8時40分まで

場 所:中野サンプラザホール

幹事団体:合掌苑、芙蓉会、東京蒼生会、東京都盲人福祉協会、東京都知的障害者育成会、東京都障害者スポーツ協会、東京都肢体不自由児者父母の会

出 演 者:ペギー葉山、菅原洋一、雪村いづみ、団しん也、島田歌穂、マリーン、前田はるみ、大橋美加、寺泉憲、広瀬としえ、竹山京李、島津とも子、花田玲子、塚越三代、小林麗子、情家みえ

来 場 者:1,529 名(前年度 1,404 名)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	6,629,677 円	主催事業収益 6,370,477 円 企業協賛金収益 259,200 円
経 常 費 用	6,628,402 円	企画制作費及会場費等 6,545,470 円 事業委託費 1,732,000 円
当期経常増減額	1,275 円	

5.高齢者のためのはつらつカラオケコンクール

高齢者が日頃から積み重ねた歌自慢の成果を競うとともに、参加者相互の理解と親睦を深め、生きがいと積極的な社会参加を促し、豊かで充実した文化生活を送ることのできる高齢者福祉の増進を図ることを目的に開催した。

主 催:日本チャリティ協会

後 援:東京都老人クラブ連合会他

企画制作:(株)公共事業PRセンター

○第 161 回大田区大会

期 日:平成 28 年 11 月 4 日(金)

場 所:大田区民ホールアプリコ大ホール

審査員:反畑誠一、満留紀弘、大田区老人クラブ連合会会長

出場者:54 名(前年度 64 名)

参加者:1,000 名(前年度 1,000 名)

アトラクション:岩佐美咲、石塚ひろし

○第 162 回世田谷区大会

期 日:平成 28 年 11 月 29 日(火)

場 所:玉川区民会館ホール

審査員:瀬川昌久、森 淑、石川宏平
 出場者:56名(前年度68名)
 参加者:500名(前年度500名)
 アトラクション:松川未樹、民謡ガールズ

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	1,000,000 円	事業受託収益 1,000,000 円
経 常 費 用	997,081 円	事業委託費 530,000 円、事務費 464,412 円
当期経常増減額	2,919 円	

6. その他の福祉関係事業

(1) ボランティアの組織化と活動(年間事業)

ボランティアは、本協会が事業を推進していく上において欠かせない存在であり、ボランティアの効率的な活動を行うために組織を強化し、目的別ボランティアの育成組織化に取り組んだ。

主な分類:協会のイベント参加者並びに企業OB、目的別シニアボランティアクラブ、自薦の中高年女性

参加事業:障害者総合美術展、高齢者など福祉活動推進のためのチャリティショー、ふれあいコンサート、シニアコーラスフェスティバル、クプナ・フラ・フェスティバル、アンケート調査などにおける発送・梱包、受付、会場整理、ビデオ撮影、写真撮影、パソコン入力

参加人数:ボランティア参加延べ人数
 イベント/217名(内カメラ・ビデオボランティア16名)

(2) 他団体主催行事招待及び物品の贈呈

協会の理念や目的の共有を図ることを目的に、他団体から寄せられた行事や催し物招待及び物品をボランティア等に贈呈し、その行事等に参加し受けた事柄を、本協会行事に反映をさせた。

催事の種類:音楽・芸能・スポーツ他

贈 呈 先:ボランティアの他、福祉作業所・障害者団体・東京都老人クラブ連合会等にも贈呈した。

贈 呈 点 数:2,100点

贈呈金額(換算):11,640千円相当

Ⅲ 福祉サービス向上のための収益事業(東京都福祉サービス第三者評価)

障害者及び高齢者施設の事業所が、東京都福祉サービス第三者評価の受審を通して、福祉サービスの質の向上及び運営上の課題解決に資することを目的に実施した。

評価実施件数:37件(前年度 46 件)

《福祉サービス分野別内訳》

高齢者福祉サービス分野	8 件
障害者(児)サービス分野	18 件
児童・生活保護等のサービス分野	1 件
利用者調査	10 件

評価従事評価者数:31名(協会登録:主たる評価者 13 名、従たる評価者 18 名)

1人当たりの平均評価件数:1.48 件

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	16,609,756 円	事業受託収益(評価受託料)16,609,756 円
経 常 費 用	16,002,344 円	評価関係費 8,506,066 円、事務費 8,103,690 円
当期経常増減額	607,412 円	

Ⅳ 共催・後援・協力事業

1 障害者関係事業

(1) 第 44 回車椅子バスケットボール選手権大会

障害者のスポーツを通じた体力の維持管理及び機能回復等の向上と、自立更生の充実を目的に開催する行事への協力を行った。

主 催:日本車椅子バスケットボール連盟、日本障害者スポーツ協会、日本バスケットボール協会

後 援:スポーツ庁、東京都、日本チャリティ協会他

期 日:平成 28 年 5 月 3 日(火・祝)から 5 日(木・祝)まで

場 所:東京体育館メインアリーナ

参 加:全国より予選勝ち抜きの16チーム

内 容:敢闘賞の贈呈(公益財団法人日本チャリティ協会会長賞)

(2) 第 50 回スポーツの集い

在宅及び施設等を利用している重度の知的障害者(児)とその家族や関係者を対象に、ス

スポーツに触れる機会を提供することを目的に開催される「スポーツの集い」が、さらに社会の多くの人々に障害者に対する理解が深まるようなアトラクションの企画運営に協力した。

主 催:東京都障害者スポーツ協会、東京都、NHK厚生文化事業団

協 力:日本チャリティ協会

期 日:平成 28 年 9 月 14 日(水)

時 間:午前 10 時から午後 3 時 30 分まで

場 所:東京体育館メインアリーナ

内 容:アトラクションのプロデュース

出演者:拓殖大学麗澤会総務局吹奏楽部
日本体育大学体操部赤坂ベンチャーズ
司会/新宮隆子

参加者:1,159 名(前年度 1,186 名)

2高齢者関係事業

(1)第 52 回東京都老人クラブ芸能大会

各地区老人クラブ(区市町村単位)が健康増進及び会員相互の交流と親睦のために取り組んでいる民謡(新舞踊、フラダンス等の民族舞踊を含む)の祭典の運営に関する助言と審査員の派遣協力を行った。

主 催:東京都老人クラブ連合会

後 援:厚生労働省、東京都、日本チャリティ協会他

期 日:平成 28 年 9 月 8 日(木)

時 間:午前 10 時から午後 4 時まで

場 所:文京シビックセンター大ホール

内 容:老人クラブ民謡舞踊コンクール運営ならびに観客動員

審査員:藤本 草、藤間松三枝、カリマ直子

参加者:1,100 名(出場者 37 組 285 名)

(2)第 35 回福祉施設への美容師訪問ボランティア

都内の有志美容師及び山野学苑在学生在が施設を訪問し整髪とメーキャップを施す奉仕活動を一緒に行った。

主 催:日本チャリティ協会 学校法人山野学苑

期 日:平成 28 年 7 月 26 日(火)を中心

時 間:午後 2 時から午後 4 時まで

場 所:都内の福祉施設

参加者:奉仕者 64 名(前年度 66 名)

内 容:ヘアカットとメイクアップ

3決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	1,026,000 円	事業受託収益 1,026,000 円
経 常 費 用	561,810 円	車椅子バスケットボール大会 880 円 スポーツの集い 433,507 円 老人クラブ芸能大会 127,423 円
当期経常増減額	464,190 円	

V 法人の運営

1 理事会・評議員会の開催

(1)理事会の開催

①平成 28 年第 2 回理事会

期 日:平成 28 年 5 月 26 日(木)

場 所:スクワール麴町 4 階「末広の間」

内 容:

ア. 平成 27 年度事業報告について

イ. 平成 27 年度決算報告について

ウ. 理事・評議員の退任及び選任について

エ. 平成 28 年定時評議委員会の開催について

②平成 28 年第 3 回理事会

期 日:平成 28 年 9 月 29 日(木)

場 所:スクワール麴町 4 階「羽衣の間」

内 容:

創立 50 周年「感謝のつどい」の開催について

③平成 29 年第 1 回理事会

期 日:平成 28 年 3 月 30 日(金)

場 所:スクワール麴町

内 容:

ア. 平成 28 年度事業計画について

イ. 平成 28 年度収支予算について

(2)評議員会の開催

①定時評議員会

期 日:平成 28 年 6 月 27 日(月)

場 所:スクワール麴町 4 階「羽衣の間」

内 容:

- ア. 平成 27 年度決算の承認について
- イ. 理事・評議員の退任及び選任について
- ウ. 平成 27 年度事業の報告

(3)監事監査の実施

期 日:平成 28 年 5 月 19 日(木)

場 所:日本チャリティ協会事務局

内 容:平成 27 年度決算審査について

(4)内閣府公益認定等委員会事務局による立入検査

期 日:平成 28 年 10 月 13 日(木)

場 所:日本チャリティ協会事務局

対 象:運営組織及び事業活動状況について

検査員:2 名(内閣府大臣官房法行政担当室参事官補佐及び室員)

立会人:協会監事2名、監査法人公認会計士、会長

結 果:「検査の結果、処理等は適正に行われているものと確認した。」旨の講評を得た。(検査員の口頭による講評)

(5)創立 50 周年「感謝のつどい」の開催

①創立 50 周年「感謝のつどい」実行委員会

期 日:平成 28 年 8 月 29 日(月)

場 所:スクワール麴町 2 階レストラン「アピアン」

内 容:

- ア. 記念式典「ありがとうございました・50 年」について
- イ. 感謝状の贈呈基準等について

②創立 50 周年「感謝のつどい」の開催

行事名:創立 50 周年記念式典「ありがとうございました・50 年」

期 日:平成 28 年 11 月 15 日(火)

場 所:日本プレスセンタービル 10 階ホール(千代田区内幸町)

内 容:

- ア. 主催者挨拶、妃殿下祝辞代読、来賓祝辞
- イ. 創立 50 周年記念感謝状の贈呈
- ウ. 記念コンサート「宮城まり子とねむのき学園」

(6)賛助会員 61 名(平成 29 年 3 月 31 日現在数)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	8,594,710 円	基本財産運用収益 1,857 円、受取会費 85,000 円 企業協賛金収益 1,000,000 円 主催事業収益 1,854,750 円 受取寄付金 5,653,000、受取利息 103 円
経 常 費 用	8,976,731 円	役員会 659,146 円、感謝のつどい 3,000,000 円 管理事務費 5,317,585 円
当期経常増減額	△382,021 円	

2 後援会活動(通年活動)

(1)「クォーターニュース」の発行 各号2,000部

区分	2016-Vol.99	2017-Vol.100
報 告	第 35 回ふれあいフェスティバル、第 32 回ふれあいコンサート、第 20 回シニアコーラス、第 30 期カルチャースクール修了式及び第 31 期開校式他	2016 パラアート TOKYO 国際交流展、第 31 回東京都障害者総合美術展、第 36 回ふれあいフェスティバル、第 47 回永遠のスクリーンミュージック、第 18 回クプナフラ他
特 集	日本チャリティ協会創立 50 周年 2016 パラアート TOKYO 展	日本チャリティ協会創立 50 周年記念式典「ありがとうございました50年」

(2)後援会会員 204 名(平成 29 年 3 月 31 日現在数)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
経 常 収 益	288,000 円	後援会員受取会費 168,000 円 事業受託収益 120,000 円
経 常 費 用	774,694 円	ニュースの発行 2 回 419,040 円 運営事務費 355,654 円
当期経常増減額	△486,694 円	